

長期戦略:テーマ 「教員個人・組織の教育力向上」

提出日 2021年 8月 24日

担当部署

Ⅱ.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小谷高等教育推進センター長 (高等教育推進センター)	実施計画の 担当部署	高等教育推進センター
-----------------------	-------------------------------	---------------	------------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(12)-⑦ 各科目における授業外学習時間の把握・測定	2019年度	2021年度	必要なし	不要
内容 <p>現在、授業外学習時間の把握については、授業調査と大学 IR コンソーシアムの共通学生調査で行っており、学生による年 1 回ないし 2 回の自己申告によるもののみである。 そのため、LMS またはポートフォリオの機能を利用して、定期的に学習時間の把握を行う仕組みの検討を行う。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	学習時間測定方法の確立	測定を行える環境を整えたか否か		
指標2				

目標1 <指標1> LMS の利用時間測定

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
目標				測定実施		
実績						

2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
LMS の利用時間測定	策定段階	検討	導入 (LMS 更新とあわせて)	測定実施		
	2022 年 3 月 末段階			測定方法の検討	導入検討	導入 (LMS またはポートフォ リオ更新とあわせて)
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階					
	2022 年 3 月 末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】

非公開

経費 単位:万円	2019 年度 承認	2020 年度 承認	2021 年度 承認	2022 年度 承認	2023 年度	2024 年度	左記以降
----------	------------	------------	------------	------------	---------	---------	------

非公開

人員・人件費 単位:万円	2019 年度 承認	2020 年度 承認	2021 年度 承認	2022 年度 承認	2023 年度	2024 年度	左記以降
--------------	------------	------------	------------	------------	---------	---------	------

非公開

4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	LMS 更新が 2023 年度に延期されたことから、利用時間測定のための仕組みの導入も 2023 年度に延期する。2020 年度には、既にシステムに保存されている利用ログを活用できないか検討する。検討にあたっては、収集した利用ログのデータを IR データベースに取り込んで分析することも視野に入れる。
2020 年度	2023 年度の LMS、ポートフォリオのリプレイスに合わせて、学習時間を申告する仕組みを導入する方向で検討する。その検討のための材料を集める方法として、教員や学生の中から協力者を募ることも視野に入れる。
2021 年度	TotalReview を受けて、具体化に向けた検討を中止する。
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	—
2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	—
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019～2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
・学生の授業外学修時間について、現状自己申告となっており、客観的に把握する手法が確立できていない。	継続 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	・ <u>明確かつ簡易に、客観的なデータ把握手法が見当たらないことから、他の実施計画を優先させるため、終了とする。</u>

【フェーズ II (2022～2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	